

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。  
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

日本測量者連盟

---

FIG ニュースレター2025年3月号 FIG からのお知らせ

ご注意: 原文 (英文) をご覧になりたい方は、[ブラウザでニュースレターにアクセス](#)してください。

国際測量者連盟 FIG

---

オーストラリアのブリスベンで開催される FIG のメインイベント「FIG 作業週間 2025」が、FIG 総会を含めて、目前に迫ってきました。今週、早くも最初の活動が始まり、4月5日(土)には、ヤング・サーベイヤーズ・カンファレンスや 実務のための基準座標系セミナーなどのプレイベントが開催されます。翌日の第1回総会では、FIG の様々な活動からの報告、分科会次期委員長候補の紹介、2029年 FIG 作業週間の開催地に対する2つの立候補地の紹介などが行われ、多くの会員代表が参加することが期待されます。4月7日～9日には、技術プログラムの豊富なセッション、ワークショップ、議論、体験、交流の場が開かれます。FIG のメンバーであることで、あなたの協会や組織にどのような利益もたらされるか、考えたことはありますか？また、どのような利益があるのでしょうか？FIG 会員協会の会長の方々は、2月に開催された3つのオンライン会議でこのことについて話し合いました。暫定的な結果は、FIG ウェブサイトの「利益」のページでご覧いただけます。あなたにとって何が重要ですか？ブリスベンでお会いできることを楽しみにしています。

---

### **FIG 総会 2025年4月6日・10日、オーストラリア、ブリスベンで開催**

会員の皆様におかれましては、FIG 作業週間 2025 に関連して、2025年4月6日と10日にオーストラリアのブリスベンで開催される FIG 総会へのご出席をお願いいたします。多くの会員が参加されることを期待しています。

総会の議題を含む招待状は、すでに FIG の全会員に送付され、ウェブサイトに掲載されました。

総会では、FIG の 10 の分科会の次期委員長の選出、将来の FIG 分科会委員長の選出に関する FIG 理事会からの提案と、FIG 作業週間 2029 の 2 つの開催候補地間の選挙が行われます。

会長会議は 2025年4月9日(水) 7:30～8:45 に開催されます。局長フォーラム、学術フォーラム、会員協会フォーラムは、作業週間中に開催される予定です。

[続きを読む](#)

---

**FIG 作業週間 2025 が目前に迫ってきました。**

**会議開催日 4月7日～9日 | FIG 総会 4月6日、10日 | プレイベント 4月4日～5日**

FIG と Geospatial Council of Australia は、国内イベント Locate25 と合同で開催される FIG 作業週間 2025 に皆様をご招待できることを光栄に思います。

この壮大なイベントは、オーストラリアのクイーンズランド州の州都にあるブリスベン・コンベンション&エキシビション・センター（BCEC）で開催されます。ダイナミックな都市ブリスベンは、洗練された都市と最先端の技術や研究がシームレスに融合しており、地理空間や測量の専門家やその関連職種にとって最適な場所です。

国内外から多くの参加者が集まることを期待しています。

### **全体会議**

会議3日間の各日の午前中に、高名な講演者による最新の話題を含む全体会議が開催されます：

全体会議1：2025年4月7日（月）11:00-13:00 地理学と地理空間エコシステムの力という文脈で、3日間の会議の基調を定めることを目指しています。これは、地球とその大気の物理的特徴だけでなく、人間の活動／人口とその影響、資源と経済活動をも網羅するものです。

全体会議2：2025年4月8日（火）9:00～11:00 引き続き気候に焦点を当てながら、土地、気候変動、人々との強靱な関係性とは何かを考え、定義しようというものです。国土、海洋、建築環境をリードする専門家として、我々は中核となる前提を再考し、既存の規範に挑戦し、将来を見据えた実践と基準を確保しなければなりません。

全体会議3：2025年4月9日（水）9:00～11:00 デジタル世代において有能な専門家を確保するために専門家としての基準、能力、適切な技能について考えます。特に、測量・地理空間分野の全てにわたって不可欠な変革や技術に関して、私たちの技能、研修、能力開発を確実に維持する必要があります。

豊富で幅広いセッションからなる[技術プログラムの詳細](#)をご覧ください。

会議のウェブサイトはこちら：[www.fig.net/fig2025](http://www.fig.net/fig2025)

---

### **FIG からのお知らせ**

#### [世界測量者の日 2025](#)

「世界測量者の日」おめでとうございます！3月21日、世界各地でこの日が祝われました。世界各地で行われたお祝いのレポートをご覧ください。[続きを読む](#)

[新規出版物：行動への呼びかけ：気候変動に対応した土地統治と災害への強靱性。土地の権利の保護](#)

本書は、ネパールで開催された FIG 地域会議 2024 の成果です。「行動への呼びかけ」の全文と、セッションとディスカッションの結果をお読みください。[続きを読む](#)

## [出版物 84：土地管理ドメイン・モデル： その概要と教室における LADM](#)

FIG 出版物 No.84 の概説版は LADM の手引書であり、LADM の概要を説明しています。この出版物は、なぜ LADM が必要なのか、どのように設計されているのか、LADM とは何なのか、そしてどのような利点があるのか、といった LADM について詳しく知りたいすべての人を対象としています。この概説書には、研修や 高等教育に焦点を当てた「教室における LADM」と題された増補版があります。

[続きを読む](#)

[出版物を PDF で読む](#)

増補版では、土地管理ドメイン・モデル (LADM) を実例を通して紹介しています。まず、LADM の中核となる概念の概要を説明し、次に、LADM を使用して、さまざまな人と土地の関係に関するデータをどのように整理できるかを解説しています。各事例は、土地管理システムで遭遇しうるシナリオを表しています。各事例で使用されているシナリオは、ワッターバーという仮定の町とその周辺の農村地域の土地管理システムから導き出されています。特定のシナリオを表すそれぞれのケースは、概念的に、またデータが具体的に保存されているデータベースの簡略化された表現を使って提示されています。デモ用データセット、付随する GIS プロジェクト、再利用可能なスライドはオンラインで入手可能です。詳しくは本書をご覧ください。

[続きを読む](#)

[PDF で読む \(20 MB\)](#)

---

近日開催の特別イベント

[次世代の持続可能性： 地理空間インテリジェンスで未来を前進させる](#)

オーストラリアで開催される FIG ワーキング・ウィーク 2025 に参加されますか？それなら、4月1日～3日にメルボルンで開催されるこの地理空間リーダーシップ・トレーニングとグローバル・フォーラムにご参加ください。[続きを読む](#)

[不動産モデリングの新時代： 現在の実務、AVM、AI と将来の課題についての洞察](#)

キプロスのパフォスで 2025 年 5 月 21 日～23 日に開催される会議とワークショップでは、鑑定専門職を変革する自動鑑定モデル (AVM) と AI 主導のイノベーションが果たす極めて重要な役割に焦点を当てながら、不動産モデリングの未来を探ります。[続きを読む](#)

[自立した都市をより良く築く](#)

UNECE WPLA、FIG 第 3・9 分科会、EGoS、世界銀行との共同会議。

2025 年 6 月 18 日～22 日、アテネ&サントリーニ島、ギリシア。非正規建物の公式化と地理空間エコシステム、土地ツール、土地政策の改善のための行動。[続きを読む](#)

[ヤングサーベイヤーズ第 2 回南北アメリカ地域会議 - FIG 財団からの助成金申請](#)

FIG 財団は、2025 年に開催される第 2 回 FIG ヤングサーベイヤーズ・アメリカ地域会議に参加する 4 人のヤング・サーベイヤーを後援します。[続きを読む](#)

---

## 今月の記事

2025年3月の今月の記事は、FIG第2分科会と第7分科会のポジションペーパーである「[責任ある土地行政のための教育要綱 \(TERLA\)](#)」です。TERLAは、土地統治という困難で複雑な領域を国レベルで教えるという課題に取り組んだものです。その基礎となる作業を振り返り、教訓を解き明かすだけでなく、今後のケースへの適用に深く関わっている評価者や教育者の洞察も引き出しています。[記事を読む](#)

---

## 今後のイベント

### 2025年4月1-4日、オーストラリア、メルボルン

世界地理空間・土地コミュニティ、Melbourne Connect

UN-GGKIC (Global Geospatial Knowledge and Innovation)、FIG、Australian Research Council Research Hub (ARC-RIIS)および複数の国際機関との協力のもと、メルボルン大学SDI・土地管理センターが主催。このプログラムには、地理空間リーダーシップ研修と、気候変動対策、強靭性、持続可能性の課題に取り組むための土地・地理空間の知識とイノベーションの推進に関する世界フォーラムが含まれ、将来世代の持続可能性アジェンダの形成に関する対話が行われる。[Website](#)

### 2025年4月6日～10日、オーストラリア、ブリスベン

FIG 作業週間 2025

ウェブサイト：[www.fig.net/fig2025](http://www.fig.net/fig2025)

### 2025年4月7～9日、ドイツ、カールスルーエ

第6回変動モニタリングに関する合同国際シンポジウム (JISDM)。FIG、IAG、ISPRS 主催。

ウェブサイト：<https://jisdm2025.gik.kit.edu/>

### 2025年4月9-11日、ウクライナ、リヴィウ

Geoforum2025は、ウクライナの地質学者、土地測量士、地図製作者の専門職の祝日記念に捧げられたXXV II国際科学技術会議です。FIGの後援。

[詳細はこちら](#)

### 2025年5月21-23日 キプロス、パフォス

不動産モデリングの新時代： 現在の実務、AVM、AI、将来の課題に関する洞察。主催：FIG第9分科会

[詳細情報](#)

### 2025年6月18～20日、ギリシア、アテネ

UNECE WPLA、FIG第3・9分科会、EGoS、世界銀行の共催によるワークショップ「自力でより良い都市を築き、地理空間データエコシステムを改善し、非正規居住者を公式化する」。[Web site](#)

### 2025年6月30日-7月4日、タイ、バンコク

アジア太平洋能力開発ワークショップ。UN-GGCE 主催。[詳しくはこちら](#)

### 2025年10月7-9日、ドイツ、フランクフルト

ドイツ DVW 主催の Intergeo 2025。

ウェブサイト：<https://www.intergeo.de/en/welcome-to-intergeo>

**2025 年 10 月 15-17 日、チェコ共和国、ブルノ**

第 9 回応用測量国際会議 (INGEO 2025 )、後援：FIG 第 6 分科会 (応用測量) ウェブサイト：<https://www.ingeoconference.com/>

**2025 年 10 月 17～18 日、米国ミネソタ州ミネアポリス**

FIG ヤングサーベイヤーズ第 2 回南北アメリカ地域会議 2025。  
ダイナミックな業界のために、明日の測量者の能力を高める。

[イベントページ](#)をチェック

日程をお忘れなく

FIG 大会 2026、南アフリカ、ケープタウン：2026 年 5 月 24 日～29 日 - [www.fig.net/fig2026](http://www.fig.net/fig2026)

FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル：2027 年 5 月 23 日～27 日 - [www.fig.net/fig2027](http://www.fig.net/fig2027)

FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年を祝う：2028 年 6 月 24 日～28 日

---

以上、よろしく申し上げます。

国際測量者連盟 局長

ルイーズ・フリス＝ハンセン